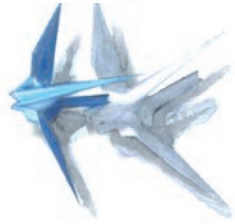


所報



希求 —ともに見つめ、ともに歩む—

3.11の東日本大震災から1年あまりの時間が過ぎました。その間、被災地には「絆」をスローガンとして全国から支援が寄せられています。しかし、被災された地域の学校教育が震災前の状況に戻るには、まだまだ膨大な年月が必要とのことです。この後、私たち広島市の教職員は何ができるのでしょうか。「ともに見つめ、ともに歩みたい。」これは表紙絵と題字をご提供くださったお二人の先生の願いです。

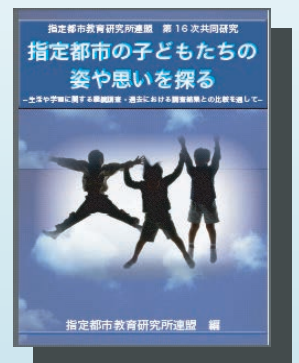
この度、広島市を含む全国20の政令指定都市の教育センター等で構成する指定都市教育研究所連盟は、『指定都市の子どもたちの姿や思いを探る—生活や学習に関する継続調査・過去における調査結果との比較を通して—』を発行しました。昭和38年から約50年にわたり、政令指定都市の子どもの実態把握を通して、教育の今日的課題を解明し、学校・家庭・地域社会における教育の在り方について提言しています。今回(第16次)の調査研究では、平成16年、平成19年のデータとの経年比較を行い、子どもの姿や思いの変化の様子をまとめています。また、「子どものやる気」「子どもの耐性」「子どもの人間関係」の3つの視点から、30年前の子どもたちと、現在の子どもの姿や思いの変容を明らかにしました。この調査・研究では、30年前の子どものもと比べて、感情を表に出さず、自分一人で抱え込もうとする

子どもが増えているということや、子どもが望んでいる地域とのかかわりは、「なかよくしたい」「助け合いたい」から「あいさつ程度」に変わってきていることがわかりました。

「人」は社会的存在だといわれています。子どもたちが自分の将来に希望をもち、未来に向かって進んでいくために、家族や学校、地域社会という身近な社会集団の中で、お互いに認め合っかかわりあうことが重要であることはいうまでもありません。社会集団が希薄になりつつある現代において、震災から立ち上がる人々の姿に、教育に携わる者として多くのことを学び、改めて人とのかかわりの大切さを感じています。

日々の教育活動を推進している先生方には、この調査結果を活用され、子どもたちの理解を深める一助としていただければ幸いです。

未来を担う子どもたち一人一人の願い、そして、保護者や地域の願いを実現するために、先生方と「ともに見つめ、ともに歩む」広島市教育センターでありたいと考えています。



もくじ

- ・ 希求—ともに見つめ、ともに歩む— p. 1
- ・ 指定都市教育研究所連盟第16次共同研究 p. 2
- ・ 広島市教育センターの事業紹介 p. 3
- ・ 教育センターひろば p. 4

指定都市教育研究所連盟第16次共同研究 「指定都市の子どもたちの姿や思いを探る」

指定都市教育研究所連盟第16次共同研究は、全国の指定都市の子どもを対象に実態や意識について、過去48年間にわたって継続してきた調査研究です。今回は「家庭・地域社会における生活」「家庭・地域社会における学習」「学校における生活」「学校における学習」について20,000人以上のデータをもとに調べました。この研究を、自校の教育活動を振り返るきっかけにしてみたいはいかがでしょうか。

1 調査結果をみてみましょう。

設問
19

あなたは、学校以外での勉強や習い事が、社会に出たとき、役立つと思いますか。

設問
39

あなたは、今、学校で学習していることが、社会に出たとき、役立つと思いますか。

学校以外での学習が社会に出たとき「役に立つと思う」と回答した子どものうち、76.0%が学校での学習についても「役に立つと思う」と回答している。

<子どもの傾向>

主体性をもって積極的に学校内外で学んでいる子は、活用意識も高く前向きな傾向がうかがえます。いろいろな人とのかかわりの中で、子どもの主体性を育む取組をしましょう。

表2-8 学習の有用性と学校以外での学習の有用性との関連(%)

設問39 設問19	役に立つと思う	どちらかといえば、役に立つと思う	どちらかといえば、役に立たないと思う	役に立たないと思う
役に立つと思う	76.0	18.9	3.5	1.5
どちらかといえば、役に立つと思う	31.1	56.6	10.0	2.3
どちらかといえば、役に立たないと思う	16.2	35.7	36.8	11.3
役に立たないと思う	15.2	17.6	17.8	49.4

学校以外での学習を「役に立たないと思う」と回答した子どものうち、49.4%が学校での学習が社会に出たとき「役に立たないと思う」と回答している。

2 教育活動の工夫をしてみましょう。

地域と学校で子どもが主体となった行事計画

異年齢集団でのかかわりを深める教育活動推進のための異校種連携

学習したことを活用し、表現させたものを学校内外に発信する授業づくり



3 自校の子どもたちのデータを活用してみましょう。

調査結果のデータそのものを活用してみましょう。

学級活動や道徳等の学習や指導の資料として

校内研修の提案資料として



学校評価などの独自のアンケート調査を実施する際の参考資料として

学級懇談会やPTA研修会等における生活習慣・学習習慣に関する提案資料として

調査結果から自校の教育活動を振り返ってみましょう。

調査結果は内部Webページに掲載しています。

内部Webページ集計フォームを活用してデータを作成できます。

全国の指定都市の子どもたちの姿との比較ができます。

広島市教育センターの事業紹介

教員長期研修

下記の研究成果は内部Webページに掲載予定



広島市の学校教育充実のために、教科・領域における高度な専門性を有し、授業(保育)実践を分析・評価し、教育活動の改善について他の教員を指導することができる人材を育成することを目的に、毎年10月から半年間、教育センターで研修を行います。

平成23年度長期研修生の研究テーマ

所属	名前	研究テーマ
温品幼稚園	上松 由美子	思考力の芽生えを培うための教師の援助に関する研究 -「遊びこむ」ことに視点を当てた保育の振り返りを通して-
江波小学校	佐伯 亜由美	数学的な思考力・表現力の育成を図る学習指導法に関する研究 -第3学年「□を使った式」における言葉・式・図の関連付けを通して-
大町小学校	高田 稔	ICTの効果的な授業活用に関する研究 -図画工作科のICTの活用場面と目的を明確にした年間指導計画試案の作成を通して-
亀崎小学校	西田 理恵	小学校中学年国語科における「聞く」力を伸ばす指導法に関する研究 -ユニバーサルデザインの視点からすべての児童への適切な支援を通して-
落合小学校	船原 浩司	体の基本的な動きを身に付けることを目指した体育科の指導法の工夫に関する研究 -小学校低学年の体づくり運動領域の実践を通して-
みどり坂小学校	松崎 浩尚	社会的な見方や考え方を養う社会科授業に関する研究 -知識の構造を明らかにすることを通して-
彩が丘小学校	瀧口 久子	小学校低学年の読書力を高める学習指導に関する研究 -読みの交流を通して-
国泰寺中学校	佐々木 育子	中学校外国語(英語)科における「書く力」を育成する指導法に関する研究 -帯時間での段階的指導と4技能の統合的な指導を通して-
庚午中学校	大槻 隆子	道徳の時間における「自尊感情」を高める指導の工夫の研究 -他者とのかわりに視点を当てた授業を通して-



サテライト研修

指導主事が年間を通じて各学校に出向き、各学校のニーズや授業研究の状況に応じて支援を行います。

<研修内容例>

- 校内授業研究の進め方と評価についての研修及び支援
- 校内授業協議会の進め方についての研修及び支援
- 学習指導案の書き方についての研修及び支援

昨年度実施校の声



活発な協議会になり、やりがいが出ます。

意見交流が進み、授業改善が見られ始めました。

教員長期研修を終え、4月から研修部長となりました。研修部としての経験も浅く慣れない分掌ですが、教育センターで学ばせていただいたことで校内授業研究の見直しをもつことができました。本年度の授業研究は、児童の見取りを大切に、本校の先生方にとって本当に必要性が感じられ、一人一人の課題意識と結びついた研究となるような研究協議会にしていきたいと考えています。

<大町小学校 教諭 高田 稔>

<平成24年度 サテライト研修実施校>

戸坂城山小, 東浄小, 荒神町小, 比治山小, 翠町小, 宇品東小, 己斐小, 川内小, 古市小, 伴南小, 亀山小, 阿戸小, 藤の木小, 二葉中, 五日市観音中, 広島特別支援学校(計16校)

教育センターひろば

研修ストリーミング・授業ストリーミング



研修後、再度ストリーミングを視聴することで、研修内容の理解が深まります。

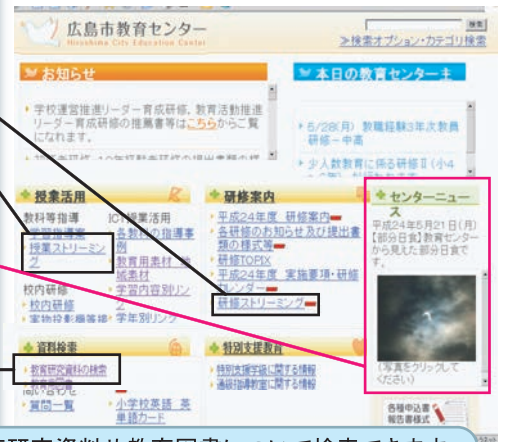
センターニュースでも、研修の様子等を紹介しています。

図書資料の貸し出しについて

- <貸出> 書籍：1人5冊まで2週間
ビデオ：1人3本まで1週間
- <返却> 書籍は一度に3冊までならメール便でも返却できます。ビデオはご持参ください。

発行機関	すべて
資料区分	すべて
資料名	すべて
主題区分	すべて
主題名	すべて
発行年	すべて
表示件数	100件

内部Webページ



教育研究資料や教育図書について検索できます。

教育センターWebページをリニューアルします

● 8月更新予定 ●

外部Webページ



☆各研修の実施要項や学習指導案等を掲載します。

<研究物等>
先生方のご自宅のパソコンから教育センターの研究物や授業に役立つパンフレットなどを見ることができるようになります。

<土曜開館>
土曜開館の情報も見ることができるようになります。

平成24年度 教育センター 土曜開館

毎月第3土曜日（4月・8月・3月を除く）は教育センターを開放しています。自己研修の場として教育センターをぜひご利用ください。

<今年度の開館予定日>

5月19日	6月16日	7月21日
9月15日	10月20日	11月17日
12月15日	1月19日	2月16日

<開館時間> 9:00~17:00

- ▶ パワーアップセミナーを行います
- ▶ 特別セミナーを行います
- ▶ 研修資料等を借用できます
- ▶ 図書資料等を借用できます

編集・発行 広島市教育センター

〒732-0068
広島市東区牛田新町一丁目17番1号
TEL(082)223-3563 FAX(082)223-3580
E-mail: center@e.city.hiroshima.jp
外部Webページ: <http://www.center.edu.city.hiroshima.jp/>
内部Webページ: <http://10.91.11.102/>

<平日開館時間延長>
金曜日は20時まで開館
※但し、8月、3月は除く

<土曜開館>
第3土曜日を開館
※但し、8月、3月は除く
☆セミナー等を行っています。

題字: 亀崎中学校長 和田 晋 表紙絵: 伴東小学校長 岡本 卓博